

平成25年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495300244	事業の開始年月日	平成24年11月1日
		指定年月日	平成24年11月1日
法人名	株式会社日本アメニティライフ協会		
事業所名	花物語たかつ南		
所在地	(〒213-0026) 川崎市高津区久末2-1-12		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成25年11月30日	評価結果 市町村受理日	平成26年4月30日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

花物語たかつ南は武蔵新城駅より綱島駅行きバスで約15分のところにあり、近くには川崎野菜の畑が広がる静かな環境のなかにあります。施設は平成25年11月1日に開設し、ちょうど1年を迎えたところです。認知症高齢者の為の「グループホーム」と、新しいタイプの地域密着型サービスである「小規模多機能型居宅介護」を同一建物内に併設しています。施設理念の「笑顔ある暮らし」に基づいて、家庭的な雰囲気や団気を大切に、活気ある毎日を送っていただけるように、笑顔の絶えない環境づくりに取り組んでいます。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成25年12月19日	評価機関 評価決定日	平成26年4月15日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の概要】 この事業所はJR南部線武蔵新城駅からバスで15分、鷹巣橋バス停から徒歩8分の所にある。大通りから少し入ったところにあり、周りは住宅地、農家などである。広い駐車場のとなりには地元農家の無人野菜販売スタンドがあり、地域の人達が買いに来る。1階は法人の小規模多機能施設2、3階が当事業所になっている。 【理念に基づいた運営】 開所して一年目であり、職員は理念「笑顔のある生活」に基づき、利用者が落ち着いて生活が出来るように支援している。アセスメントを基にして利用者の思いを把握し、まず職員が笑顔になることで、利用者も笑顔になれるように努めている。家族の意見をよく聞き、「支援経過記録」で職員と情報を共有して、利用者のその人らしい生活の継続に活かしている。「気づきシート」を使い、職員の意見を活かせるようにしている。これらの方法により、理念に添った運営を推進し、利用者も笑顔で生活している様子が見て取れた。 【地域との関わり】 運営推進会議に参加してくれる町内会長、民生委員や地域の古参であるオーナーの協力で、地域行事に参加したり、地域の人達と挨拶を交わしたり、野菜を頂くなどの関係が出来ている。防災訓練と運営推進会議とを合わせて行なったり、民生委員の見学会を受け入れたり、これから、事業所を開放する行事を予定しているなど、地域との関わりを促進している。
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	花物語たかつ南
ユニット名	2階

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開設時に作成した理念を玄関、事務室各ユニット、休憩室に掲示し、ユニット会議時に確認を行い、職員全員が理念に添った支援を心掛け少しでもその方にとって安心かつ楽しく過ごして頂けるよう支援しています。	開設時の職員と話し合って「笑顔」など3項目を決めた。理念を事務所や各フロアに掲示している。また、月1回の会議や、申し送り時などに確認している。職員が笑顔でいることが利用者の笑顔につながるとの思いで、ケアに活かしている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	散歩途中には近隣の方に積極的に挨拶を行い、地域のお祭りや小学校のバザーに参加をしています。	町内会にはこれから加入する予定であるが、運営推進会議などの情報から、夏祭りや、小学校のバザーなどの行事に参加している。ちぎり絵、ハーモニカのボランティアや、夏休みに大学生が来所している。近隣の方の見学や農家から野菜をもらうなど、地域の方達との交流がある。クリスマスイベントとしてリースづくり、やきいも、見学会、漫才師を呼ぶなど、事業所に地域の方が来てもらえるよう、チラシを配布し呼びかけをしている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設見学会の開催と高津区の民生委員様向けの介護説明会を実施しました。施設避難訓練にも民生委員の方々にご参加いただき高齢者施設の災害時の問題点等を一緒に考えて頂いています。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、地域との関わりや地域で行っている行事などのご意見を伺い参考にしています。施設の場所がわかりにくいとのご意見を頂戴し、電柱への看板を設置致しました。	運営推進会議は2ヵ月に1回、開催している。町内会長、民生委員、地域包括支援センター職員とオーナーが委員である。家族の参加は少ない。事業所の運営状況や活動報告を行なっている。5月は防災訓練と同日に行ない、災害について話し合われた。参加者の意見から、電柱に事業所の標識を設置したり、町内掲示板や地図に事業所情報の掲載をしたりしている。	運営推進会議を活か化させるため、家族に対しても今まで以上に参加を働きかけることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	高津区役所とは申請の代行で出掛けた時に相談に乗って頂いたりアドバイスを頂いています。運営推進会議では施設の現状をお伝えし、地域包括支援センターからの受入れの相談を頂いています。	高津区役所には運営推進会議の連絡や、申請の代行に出掛け情報交換をしている。集団指導講習会に参加したり2月には区の職員が火災後の視察に來所している。横浜市とは隣接の区に住んでいる方の入居相談をし、その後入居に至っている。市主催の感染症の研修に参加している。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会議時に「身体拘束ゼロの手引き」をもとに勉強会を行い、職員間で共有しています。施設玄関については防犯上施錠されていますが、入居者様のご希望に応じて職員とともに外出していただいています。	契約書などに身体的拘束等を行わないことが明記されている。職員は「身体拘束について」のマニュアルに基づいた研修や、言葉による拘束についても話し合われ徹底している。利用者のベッドにセンサーを置き転落の防止をしている。1階の玄関は家族の了承を得て防犯のため施錠している。ユニット間は施錠していない。エレベーターも自由に使用できる。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての勉強会を開き、事例検討を含め、どういふ場合が虐待になるのかを話し合い、職員の内面的ケアにも心がけています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度の活動を支援する機会があり、ユニット会議で勉強会を行い、必要だと思われるご家族にも説明を行っています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては、個々の不安材料を時間をかけ話し合い、ご納得の上でご入居いただいています。特に終末期ケアや医療行為に関する疑問を具体的に説明し、転倒の不安がある方には対応方法の具体的な事例を挙げてご理解を頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様の面会時や随時の電話連絡により、ご家族の意見を取り入れるように努めています。意見や要望があった際には支援経過に記録し反映させるようにしています。面会時間外のご相談なども他入居者に影響のない範囲内で対応しています。	家族会は無いが、年1回のクリスマス会（各階ごと）に参加を呼びかけ、多くの方が参加している。また家族の来所の折や、毎月送る手紙で情報を伝えて、意見・要望を聞いている。家族からの意見は「支援経過記録」で職員と共有し対応している。「職員の名前が分らない」との要望を受け、職員と話し合い、3階ユニットには当日働く職員の写真と名前を掲示することにした。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度のカンファレンスや日々のミーティングにて意見交換をしたり、話しにくいことは「気づき・考え・行動する」カードを提出していただき運営に反映させています。	管理者は、職員がスタッフ会議時のほか、いつでも意見が言えるように努めている。法人の方針で事務室に「気づきシート」を置いて、職員が要望を出しやすいよう工夫している。出勤簿を管理者の机に置き挨拶と共に意見を聞けるようにもしている。職員の意見は、毎月の会議で話し合う。意見から、ソファや干しもの台を購入している。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	契約更新時に個人面談を行い、就業時間の増減や、契約社員や社会保険の加入についての希望、契約条件の確認を行っています。無資格者には資格取得支援制度などの奨学金制度も整備しています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修の定期的な実施や外部研修への参加、資格取得を推奨するなど、個々のスキルの向上を働きかけています。社内他施設への実習や実習生を迎えることで多くの気づきを得ています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市町村・社会福祉協議会等の研修会への参加や他施設からの見学を受け入れることにより同業者とのネットワークを構築しサービスの質の向上に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の要望や不安を聞き、利用開始前にはアセスメントをしっかり取り、ご家族からは「私の歴史」「暮らしの情報」も提出いただき入居後のケアに活かしています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が困っていること不安な事、施設での暮らし方の希望などを伺い、安心してご入居頂けるようにスタッフ間で相談し対応しています。入居後も面会の機会をたくさん作って頂けるように声を掛けています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談初期の段階でご本人やご家族のニーズ、置かれている物理的・精神的環境を考慮し、グループホームが適切か、小規模多機能居宅介護や他サービスの利用が適切かを見極め他施設への紹介も行っています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	これまでの生活習慣等を考慮に入れ、ご利用者のペースで何か役割と思えること、生活のハリとなる事柄が出来るように、徐々に働きかけ、共に支え合う間柄になるように努めています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	常に家族の意見を反映できるように、ご本人の情報を共有し一方通行にならないように努めています。可能な場合には面会を始め、受診時の付添いや衣替え、施設の行事への参加をお願いしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前の施設職員の面会や、ご家族・ご親戚の方との電話連絡等ご希望に添うよう支援しています。またご家族にもご協力いただき馴染みの美容院へ外出等の支援もおこなっています。	親戚の方や、知人、教会に通っていた方の関係者が来ることがある。訪問時には居室やリビングでお茶を出して、歓談してもらっている。利用者の希望する美容院へ通うことを支援している。電話の取り次ぎや手紙を出すことも手伝っている。以前住んでいた家からジャーマンアイリスを持ち込み、事業所に植えたりもしている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の出来る事、出来ない事を把握し無理なく楽しんで参加できる場への声掛けや役割りを作り出すように努めています。食事席の配置等にも気を付けています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご退居後も郵便物に手紙を同封し、何か困ったことがあった時にご相談して頂けるよう支援に努めています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のケア中の会話やアセスメントをもとに思いや希望を把握し、申し送り時やカンファでスタッフ間で共有しています。またその意向はご家族にも伝えご協力いただき、支援しています。	職員は、アセスメントや、家族からの意見、利用者の毎日の会話や行動から意向を汲む努力をしている。「ヨーグルトを食べたい」という要望には家族に持ってきてもらい、「柿を食べたい」にはおやつに出した。「リハビリパンツが不快」との訴えに対しては、なぜ不快なのかを把握し、リハビリパンツのゴムを切ってゆるめる対応をした。思いを表現出来ない方については声掛けの反応を見て、把握に努めている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人からの聞き取り、ご入居前の担当ケアマネジャーからの情報、ご家族からの「私の歴史」「暮らしの情報」をご記入いただく事により経過把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送り時やカンファ時に各スタッフから出された情報を職員全員で把握し共有に努めています。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフ一人一人が日々の生活の中での小さな変化や気づき等をユニット会議時に議題提供し、全スタッフで共有しています。再アセスメントは担当スタッフも協力して行い、介護計画に反映させています。	入居時のアセスメントを元に、職員と検討して作成する。支援項目に番号を付けて実施内容を個人記録に記録している。3ヶ月に1回モニタリングを実施している。医師の意見は往診記録を見て把握している。通常は6ヶ月で、急変時にはその都度、見直しをする。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録に時間ごとのご様子やご利用者の発言等を記録しています。また介護計画の実施状況の記入もおこないスタッフ全員が介護計画書に添ったケアを日々心がけています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	常に現状必要なサービス、今後必要なサービスは何かを考え、本人と家族の関係性を考慮しながら、かかりつけ医の受診支援、申請代行などに取り組んでいます。ご本人ご家族の要望があった際には該当するサービスを取り入れています。（訪問マッサージ）		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方によるちぎり絵やハーモニカ演奏会を実施し豊かな暮らしの支援をしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月に2回の定期往診を受けていただき心身状態についてご家族や主治医と常に連携連携を取りご入居者様が適切な医療を受けられるように支援しています。また、薬の変更時や状態の変化時にはご家族と往診医との話し合いの場をセッティングしています。</p>	<p>利用者全員が協力医による往診を月2回、ユニットごとに隔週で受けている。耳鼻科や整形外科、眼科、もの忘れ外来、ペースメーカー、パーキンソン病の専門医などの受診は家族対応が原則であるが、状態により職員が対応する。「受診報告書」を家族に書いてもらったり、緊急時は職員が書き情報を共有している。看護師が週に1回来所し、医師と連携して健康管理を行なっている。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>ご入居者様の情報や気づきを申し送り時や申し送りノートに記載し、職員、看護職員間で共有しています。状態の変化時や入退院時等は往診医と連絡をとり指示を頂いたり、時には退院前に看護師による勉強会を行い、適切な情報が伝えられるように取り組んでいます。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は施設での様子や往診医からの情報提供書を迅速に提供し関係づくりに努めています。ご家族と連携を取り面会や必要な日用品の届け、ムンテラへの同席、SWとの連絡等を行い退院後の支援に活かしています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>指針について入居時に説明し同意書をいただいています。病気については状態の変化時の早い段階でご家族と十分に話し合い往診医と連携を取り、話し合いの場を作っています。施設内では必要に応じ、看護師・社内医療部による研修会を開いたり、急変時対応マニュアルに沿って支援出来るように職員間で共有しています。</p>	<p>重度化については「利用者の状態が重度化した場合の対応に関する指針」を契約時に利用者や家族に説明し、同意を得ている。職員は、会議の折に勉強会を行なっている。開所間もないこともあり、看取り例はない。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	入職時の研修や社内研修で急変対応や事故対応の研修を行い、発見時の対応や報告が出来るようにしています。カンファ時など不安や問題点の解決に努めています。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に地域子母口消防署にご協力いただき、夜間想定避難訓練と消火活動のご指導を頂いています。また職員からの質問事項を消防署職員に提出し検討していただいたりもしています。地域からは民生委員の方々に避難訓練に参加していただき、高齢者施設の現状の理解を深めていただいています。	避難訓練は5月に消防署指導のもと併設小規多機能型事業所と合同で夜間を想定して行なっている。また運営推進会議と同日に行い、様子を見てもらいアドバイスを受けている。実施後、消防署に質問し回答を得ている。11月には事業所独自に訓練を行なっている。食料・飲料水は3日分、また備品などを保管している。	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩であるという事を意識し、常に尊敬と敬意の念を持って接しています。お名前は必ず苗字でお呼びし、居室空間への入室は必ずお声を掛けてから行っています。	職員は、利用者を人生の先輩として尊敬することを大事にしている。プライバシーや接遇、個人情報保護の研修を行ない、言葉づかいや態度に気を付けて、利用者に嫌な感じをさせないように努力している。利用者の個人情報に関する書類は事務室のキャビネットに施錠して保管している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	危険な行為や言葉による他者への不快感や不穏、健康状態に支障のない限り自己決定できるように心がけています。入浴後の着替えではご自身で選んで頂けるように声掛けをしています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴や更衣、炊事、掃除、洗濯の手伝い等可能な限りご本人の意向を優先しています。会話の中から意見をくみ取り支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の意思や希望を尊重し、ほとんどの方にご自身で洋服を選んで頂いています。季節に合った身だしなみが出るように声を掛けたり、ご家族にお願いし衣替えを行っていただいています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理が苦手な方が多いのでその後での味見や盛り付け、食器拭き等に参加して頂けるように声掛けによる支援を行っています。	食材配達業者のメニューをもとに、職員が調理する。状態を見て業者と相談し、メニューを変えている。手伝える利用者はテーブル拭きや、下膳、食器拭きを職員と一緒にやっている。職員は介助と見守りをしている。月に1回季節ごはんの日（豆ごはん、たけのごはん、けんちんうどん）を楽しんでいる。とんかつやファミリーレストランのほか、個別にも外食に出かけている。誕生日は一人一人行ないケーキで祝っている。検食は、夕食のみ、施設長が小規模多機能型事業所と各ユニットを10日づつ順番に実施している。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー計算された食材の配達を利用し、施設で調理を行っています。その方に合った形態やご飯の量を調整し提供するとともに、摂取量や水分量の記録を行い、不足の方には好みの飲み物の提供やゼリー状にて提供し水分不足にならないように工夫しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行い、個別に応じた対応を実施しています。義歯の消毒洗浄は夜間スタッフが洗浄剤へつけおき管理しています。また歯科往診医から口腔指導うけ、日々のケアにいかしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ご本人の尿意や便意の訴えにより誘導・介助を行っています。尿意や便意のない方・うまく伝えられない方には記録により排泄パターンを把握し、時間を見計らって声掛け誘導を行っています。ポータブルトイレは使用せず出来るだけトイレでの排泄を時には二人対応にて支援しています。	個人記録に排泄状況を記載し、それを「排泄チェック表」に便のみ1ヶ月ごとにまとめている。排泄パターンと利用者の様子からトイレに誘導し、出来るだけトイレでの排泄を支援している。便器に座って足が届かない方のため、介護用トイレを導入し、自分でできるようになったケースがある。夜間については、声を掛けトイレに誘導する人、安眠を優先して声かけしない人と、人によって対応を変えている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人一人の水分量や食事量、排泄の記録を残し便秘の発見と予防に努めています。散歩や体操の声掛けを行いながら、往診医と相談し緩下剤の利用も個々の状態により最小限にとどめています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	清潔保持の為にもおむね週2回の入浴を行っています。ゆず湯やしょうぶ湯等の季節のお風呂の用意、拒否のある方には気持ちよく入れるような雰囲気作りと声掛けを心掛けています。また浴槽への入浴が難しい方はご家族了承のもと、シャワー浴+足浴で対応しています。	入浴は原則として週2回としている。午前中から、毎回湯を代えて、1日3人ぐらい入るようにしている。基本は午前中だが午後の希望にも対応できる。シャワー浴や足浴も行なう。入浴を望まない方には声掛けや誘導を工夫している。季節のユズ湯や菖蒲湯などで、気持ちよく入浴している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	それぞれの入居者が、自由に自分の時間を居室やフロアにて過ごしています。ご自身での移動が不可能な場合は状態により、休息誘導を行っています。夜間の睡眠を妨げないような離床の声掛けも行っていきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>2名での服薬確認を実施し飲み込むまでそばを離れず確実に服薬して頂くよう支援しています。薬の変更時は特に注意深く観察をおこない症状の変化を見逃さないように往診医へ情報を伝えています。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>誰かの役に立つことで生活に張り合いを感じて頂けるように努めています。台所仕事が得意な方、洗濯物たたみが好きな方、一人一人の楽しみを探りスタッフ間で共有し支援しています。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>近隣の散歩や庭での外気浴はほぼ毎日行っています。可能な方はご家族対応で外出の機会を持っていただけるように支援しています。</p>	<p>近隣の散歩や買い物、町内会の行事への参加をしている。2~3人ずつ車で都筑区の徳生公園へ出かけたり、花見には全員で中原区のさくらが丘にも出かけている。広い玄関前で外気浴をしたり、近くのお寺や、矢上川などに出かけている。お墓参りや外食などに家族と行くこともある。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理は主に事務所でを行い、使った額を請求させていただく立替制度をとっています。ご家族からの現金のお預かりは原則しておりません。ご自身で管理の出来る方、希望により、ご家族了解のもと、少額の現金を所持し近くのコンビニエンスにて買い物の支援をしています。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>用事がある時や、家に帰りたいたいの訴えがあった時には、ご家族了解のもと、電話が出来るように支援しています。遠方のご親戚からの電話の取次ぎも行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やリビングには季節の花を取り入れながら常に花を絶やすことなく飾り、幼稚な飾り付けではなく大人の落ち着いた空間づくりに努めています。加湿器を置き湿度や温度調節をこまめに行っています。食事中はテレビを消し落ちついた音楽を流して食事に集中できるよう工夫しています。	法人の方針もあり毎週生花を施設内に飾っている。利用者の好みもあり、飾りなどを少なくしている。職員が朝や夜勤の時にモップ掛けや手摺りの消毒をしている。リビングルームは採光が良く明るい。加湿器を置き換気や空調に気を付けている。テーブルやでソファでゆっくり過ごせるようにしている。利用者の作品を飾っているフロアもある。写真の向きをばらばらに掲示したところ混乱する方がいたので、現在は並べて掲示している。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご入居様が、自由に気の合う方の部屋に出入りし交流をしています。自室で好きなテレビ番組を観たり、横になり音楽を聴いたりと自由に過ごしています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に使用していた馴染みの家具や、ご家族の写真等をお持ちいただき、自宅に近い感覚で安心して生活できるように、ご家族と一緒に工夫しています。	各部屋の前には名前の貼られた木のプレートが掛けられている。居室にはエアコン、加湿器、照明が備え付けられている。ベッド、たんす、椅子、テレビや、家族の写真など好みの物を置いている。できる方は職員と一緒に部屋掃除を行なう。整理整頓され、過ごしやすい部屋になっている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、風呂場、共有スペースには手すりを設置するなど安全の確保に努め、個々の自立につながるように支援しています。また居室には大きめのネームプレートを設置し確認が出来るよう工夫しています。		

事業所名	花物語たかつ南
ユニット名	3階

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開設時に作成した理念を玄関、事務室各ユニット、休憩室に掲示し、ユニット会議時に確認を行い、職員全員が理念に添った支援を心掛け少しでもその方にとって安心かつ楽しく過ごして頂けるよう支援しています。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩途中には近隣の方に積極的に挨拶を行い、地域のお祭りや小学校のバザーに参加をしています。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設見学会の開催と高津区の民生委員様向けの介護説明会を実施しました。施設避難訓練にも民生委員の方々にご参加いただき高齢者施設の災害時の問題点等を一緒に考えて頂いています。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、地域との関わりや地域で行っている行事などのご意見を伺い参考にしています。施設の場所がわかりにくいとのご意見を頂戴し、電柱への看板を設置致しました。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	高津区役所とは申請の代行で出掛けた時に相談に乗って頂いたりアドバイスを頂いています。運営推進会議では施設の現状をお伝えし、地域包括支援センターからの受入れの相談を頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>会議時に「身体拘束ゼロの手引き」をもとに勉強会を行い、職員間で共有しています。施設玄関については防犯上施錠されていますが、入居者様のご希望に応じて職員とともに外出していただいています。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待についての勉強会を開き、事例検討を含め、どのような場合が虐待になるのかを話し合い、職員の内面的ケアにも心がけています。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見制度の活動を支援する機会があり、ユニット会議で勉強会を行い、必要だと思われるご家族にも説明を行っています。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約に関しては、個々の不安材料を時間をかけ話し合い、ご納得の上でご入居いただいています。特に終末期ケアや医療行為に関する疑問を具体的に説明し、転倒の不安がある方には対応方法の具体的な事例を挙げてご理解を頂いています。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族様の面会時や随時の電話連絡により、ご家族の意見を取り入れるように努めています。意見や要望があった際には支援経過に記録し反映させるようにしています。面会時間外のご相談なども他入居者に影響のない範囲内で対応しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度のカンファレンスや日々のミーティングにて意見交換をしたり、話しにくいことは「気づき・考え・行動する」カードを提出していただき運営に反映させています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	契約更新時に個人面談を行い、就業時間の増減や、契約社員や社会保険の加入についての希望、契約条件の確認を行っています。無資格者には資格取得支援制度などの奨学金制度も整備しています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修の定期的な実施や外部研修への参加、資格取得を推奨するなど、個々のスキルの向上を働きかけています。社内他施設への実習や実習生を迎えることで多くの気づきを得ています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市町村・社会福祉協議会等の研修会への参加や他施設からの見学を受け入れることにより同業者とのネットワークを構築しサービスの質の向上に努めています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の要望や不安を聞き、利用開始前にはアセスメントをしっかりと取り、ご家族からは「私の歴史」「暮らしの情報」も提出いただき入居後のケアに活かしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が困っていること不安な事、施設での暮らし方の希望などを伺い、安心してご入居頂けるようにスタッフ間で相談し対応しています。入居後も面会の機会をたくさん作って頂けるように声を掛けています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談初期の段階でご本人やご家族のニーズ、置かれている物理的・精神的環境を考慮し、グループホームが適切か、小規模多機能居宅介護や他サービスの利用が適切かを見極め他施設への紹介も行っています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	これまでの生活習慣等を考慮に入れ、ご利用者のペースで何か役割と思えること、生活のハリとなる事柄が出来るように、徐々に働きかけ、共に支え合う間柄になるように努めています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	常に家族の意見を反映できるように、ご本人の情報を共有し一方通行にならないように努めています。可能な場合には面会を始め、受診時の付添いや衣替え、施設の行事への参加をお願いしています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前の施設職員の面会や、ご家族・ご親戚の方との電話連絡等ご希望に添うよう支援しています。またご家族にもご協力いただき馴染みの美容院へ外出等の支援もおこなっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の出来る事、出来ない事を把握し無理なく楽しんで参加できる場への声掛けや役割りを作り出すように努めています。食事席の配置等にも気を付けています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご退居後も郵便物に手紙を同封し、何か困ったことがあった時にご相談して頂けるよう支援に努めています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のケア中の会話やアセスメントをもとに思いや希望を把握し、申し送り時やカンファでスタッフ間で共有しています。またその意向はご家族にも伝えご協力いただき、支援しています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人からの聞き取り、ご入居前の担当ケアマネジャーからの情報、ご家族からの「私の歴史」「暮らしの情報」をご記入いただく事により経過把握に努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送り時やカンファ時に各スタッフから出された情報を職員全員で把握し共有に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>スタッフ一人一人が日々の生活の中での小さな変化や気づき等をユニット会議時に議題提供し、全スタッフで共有しています。再アセスメントは担当スタッフも協力して行い、介護計画に反映させています。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人記録に時間ごとのご様子やご利用者の発言等を記録しています。また介護計画の実施状況の記入もおこないスタッフ全員が介護計画書に添ったケアを日々心がけています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>常に現状必要なサービス、今後必要なサービスは何かを考え、本人と家族の関係性を考慮しながら、かかりつけ医の受診支援、申請代行などに取り組んでいます。ご本人ご家族の要望があった際には該当するサービスを取り入れています。（訪問マッサージ）</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の方によるちぎり絵やハーモニカ演奏会を実施し豊かな暮らしの支援をしております。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>月に2回の定期往診を受けていただき心身状態についてご家族や主治医と常に連携連携を取りご入居様が適切な医療を受けられるよう支援しています。また、薬の変更時や状態の変化時にはご家族と往診医との話し合いの場をセッティングしています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>ご入居者様の情報や気づきを申し送り時や申し送りノートに記載し、職員、看護職員間で共有しています。状態の変化時や入退院時等は往診医と連絡をとり指示を頂いたり、時には退院前に看護師による勉強会を行い、適切な情報が伝えられるように取り組んでいます。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は施設での様子や往診医からの情報提供書を迅速に提供し関係づくりに努めています。ご家族と連携を取り面会や必要な日用品の届け、ムンテラへの同席、SWとの連絡等を行い退院後の支援に活かしています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>指針について入居時に説明し同意書をいただいています。病気については状態の変化時の早い段階でご家族と十分に話し合い往診医と連携を取り、話し合いの場を作っています。施設内では必要に応じ、看護師・社内医療部による研修会を開いたり、急変時対応マニュアルに沿って支援出来るように職員間で共有しています。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>入職時の研修や社内研修で急変対応や事故対応の研修を行い、発見時の対応や報告が出来るようにしています。カンファ時など不安や問題点の解決に努めています。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に地域子母口消防署にご協力いただき、夜間想定避難訓練と消火活動のご指導を頂いています。また職員からの質問事項を消防署職員に提出し検討していただいたりもしています。地域からは民生委員の方々に避難訓練に参加していただき、高齢者施設の現状の理解を深めていただいています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩であるという事を意識し、常に尊敬と敬意の念を持って接しています。お名前は必ず苗字でお呼びし、居室空間への入室は必ずお声を掛けてから行っています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	危険な行為や言葉による他者への不快感や不穩、健康状態に支障のない限り自己決定できるように心がけています。入浴後の着替えではご自身で選んで頂けるように声掛けをしています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴や更衣、炊事、掃除、洗濯の手伝い等可能な限りご本人の意向を優先しています。会話の中から意見をくみ取り支援しています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の意思や希望を尊重し、ほとんどの方にご自身で洋服を選んで頂いています。季節に合った身だしなみ出来るように声を掛けたり、ご家族にお願いし衣替えを行っていただいています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理が苦手な方が多いのでその前後での味見や盛り付け、食器拭き等に参加して頂けるように声掛けによる支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー計算された食材の配達を利用し、施設で調理を行っています。その方に合った形態やご飯の量を調整し提供するとともに、摂取量や水分量の記録を行い、不足の方には好みの飲み物の提供やゼリー状にて提供し水分不足にならないように工夫しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行い、個別に対応を実施しています。義歯の消毒洗浄は夜間スタッフが洗浄剤へつけ置き管理しています。また歯科往診医から口腔指導うけ、日々のケアにいかしています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ご本人の尿意や便意の訴えにより誘導・介助を行っています。尿意や便意のない方・うまく伝えられない方には記録により排泄パターンを把握し、時間を見計らって声掛け誘導を行っています。ポータブルトイレは使用せず出来るだけトイレでの排泄を時には二人対応にて支援しています。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人一人の水分量や食事量、排泄の記録を残し便秘の発見と予防に努めています。散歩や体操の声掛けを行いながら、往診医と相談し緩下剤の利用も個々の状態により最小限にとどめています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	清潔保持の為にもおおむね週2回の入浴を行っています。ゆず湯やしょうぶ湯等の季節のお風呂の用意、拒否のある方には気持ちよく入れるような雰囲気作りと声掛けを心掛けています。また浴槽への入浴が難しい方はご家族了承のもと、シャワー浴+足浴で対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	それぞれの入居者が、自由に自分の時間を居室やフロアにて過ごしています。ご自身での移動が不可能な場合は状態により、休息誘導を行っています。夜間の睡眠を妨げないような離床の声掛けも行っていきます。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	2名での服薬確認を実施し飲み込むまでそばを離れず確実に服薬して頂くよう支援しています。薬の変更時は特に注意深く観察をおこない症状の変化を見逃さないように往診医へ情報を伝えています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	誰かの役に立つことで生活に張り合いを感じて頂けるように努めています。台所仕事得意な方、洗濯物たたみが好きな方、一人一人の楽しみを探りスタッフ間で共有し支援しています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣の散歩や庭での外気浴はほぼ毎日行っています。可能な方はご家族対応で外出の機会を持っていただけるように支援しています。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は主に事務所で行い、使った額を請求させていただき立替制度をとっています。ご家族からの現金のお預かりは原則しておりません。ご自身で管理の出来る方、希望により、ご家族了解のもと、少額の現金を所持し近くのコンビニエンスにて買い物の支援をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	用事がある時や、家に帰りたいとの訴えがあった時には、ご家族了解のもと、電話が出来るように支援しています。遠方のご親戚からの電話の取次ぎも行っています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やリビングには季節の花を取り入れながら常に花を絶やすことなく飾り、幼稚な飾り付けではなく大人の落ち着いた空間づくりに努めています。加湿器を置き湿度や温度調節をこまめに行っています。食事中はテレビを消し落ちついた音楽を流して食事に集中できるよう工夫しています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご入居者様が、自由に気の合う方の部屋に入入りし交流をしています。自室で好きなテレビ番組を観たり、横になり音楽を聴いたりと自由に過ごしています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に使用していた馴染みの家具や、ご家族の写真等をお持ちいただき、自宅に近い感覚で安心して生活できるように、ご家族と一緒に工夫しています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、風呂場、共有スペースには手すりを設置するなど安全の確保に努め、個々の自立につながるように支援しています。また居室には大きめのネームプレートを設置し確認が出来るよう工夫しています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 花物語たかつ南(GH)

作成日 平成26年4月22日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活性化させるため家族の参加を増やしていく	2ヶ月の一度の運営推進会議に必ずご家族に参加していただく。	運営推進会議の開催案内を玄関掲示板に掲載するとともに、面会時には直接お声掛けをしてお願いをする	2ヶ月～1年
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。